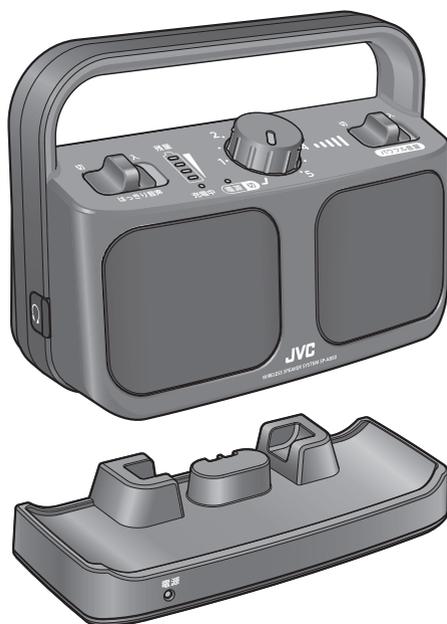


JVC

取扱説明書

ワイヤレススピーカーシステム

型名 **SP-A850**



※イラストはブラックのモデルを使用しています。

●もくじは2 ページにあります。

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供
サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されて
いる場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



B5A-0199-00

もくじ

付属品	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
主な使用方法	7
スピーカーを充電する	8
テレビに接続する	9
テレビの音を聞く	10
ヘッドホンで聞く	11
音が聞き取りにくいときは	11
ツインオートパワーセーブ機能について	12
スピーカーを AC アダプターで使いたいときは	12
故障かな?と思ったら	13
ワイヤレス機能について	15
主な仕様	16
保証とアフターサービス	19

付属品

- 取扱説明書(本書) × 1
- 専用 AC アダプター(JD1022-000A) × 1
- 変換コード(φ 3.5mm ステレオミニジャック - ピンプラグ × 2 / 約 0.1m) × 1

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良くご理解していただいてから本文をお読みになり、必ずお守りください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

危険

 火の中に投入したり、加熱しない
高温での充電・使用・放置をしない
発熱や発火、破裂の原因になります。

 端子をショートさせない
金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯
または保管しない

警告

 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる

- 煙が出ていたり、異臭がするとき
- 内部に水や物が入ったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コード（ACアダプター）が傷んだとき（芯線の露出断線など）

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

 表示された電源電圧以外で使用しない
故障、火災、感電の原因になります。

 分解や改造をしない
故障、火災、感電の原因になります。

 火のそばやストーブのそば、車内・お風呂場など高温・高湿になる
場所で使用したり、放置しない
発熱や発火、破裂の原因になります。

 ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因
となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのおやめ
ください。

 めくれた手でACアダプターを抜き差ししない
感電の原因になります。

 コードは伸ばして使用する
釘などの固定や、束ねたままでの使用はしない



警告

-  本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない
頭からかぶると窒息の原因となります。

-  心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない
ペースメーカーが、本機の電波の影響を受ける恐れがあります。

-  病院などの医療機関、医療機器の近くでは本機を使用しない
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

-  電子レンジや高压容器に入れない

-  不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

-  釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

-  スピーカー本体を充電するときは、必ず送信機または専用の
ACアダプターを使用する

注意



水など、液体を入れたり、濡らしたりしない
発熱や発火の原因になります。



直射日光の強い所や、炎天下の車内など高温になる場所で使用したり
放置したりしない



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災ややけど、けがの原因になります。



使用後は、本機のスイッチを必ず切る



汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取る
シンナーやベンジンなどは、絶対にしない



電源プラグ（ACアダプター）を抜くときは電源コードを
引っ張らない



コードに傷が付き、火災や感電の原因となります。必ず電源プラグ
（ACアダプターの本体）を持って抜いてください。



ACアダプターの取り扱いについて

- 本機の専用ACアダプターをご使用ください。それ以外のものを
使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
- 付属のACアダプターを本機以外の機器には使用しないでください。
- ACアダプターを布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因になることがあります。
風通しのよい状態でご使用ください。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および
節電のため、電源プラグを抜いてください。



手が濡れた状態で送信機の充電端子を触らない



コードを抜くときは、コードを引っ張らない

コードに傷が付き、火災や感電の原因となります。必ずプラグを持って
抜いてください。



本機の近くでラジオや携帯電話などをお使いの場合、ノイズが
入ることがあります

使用上のご注意

- 充電中、使用中は毛布や衣類などを本機にかぶせないでください。発熱や発火の原因になります。
- 航空機内で使用しないでください。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- 許容入力以上の音量を加えると、音が歪んだり、振動板を壊す場合がありますのでご注意ください。
- 長時間お使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 充電中は熱を持ちます。充電時には本機に毛布や衣類などをかぶせないでください。
- 気温が5℃から40℃の場所で使用してください。



Li-ion 00

充電式電池のリサイクルについて

本機は、リサイクル可能な充電電池を使用しています。
本機を廃棄するときはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

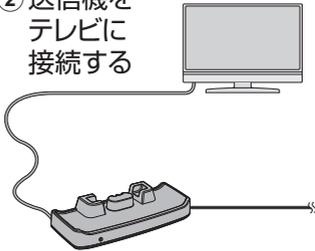
主な使用方法

① スピーカーを充電する



家庭用
コンセントへ

② 送信機を テレビに 接続する



送信機をテレビに接続して、ワイヤレスでスピーカー(受信機)に音を送ります。テレビ音声を手で、大きくはっきりした音で楽しむことができます。

③ テレビの音声を聞く



また、スピーカーにヘッドホンを接続すると、周囲に音を出さずに、音声を楽しむことができます。

本機のスピーカーは生活防水(IPX2 相当の防滴仕様)に対応しております。

キッチン周りでもお使いいただけます。

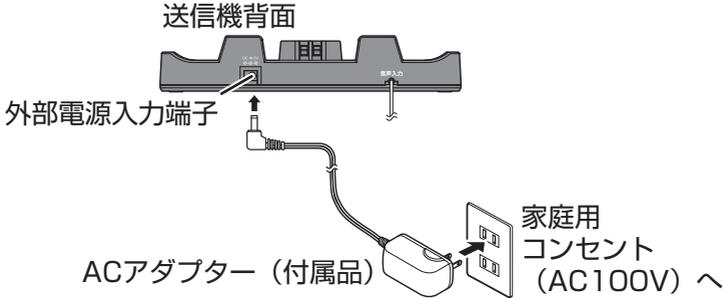
スピーカーを充電する

お使いになる前に、スピーカーを充電してください。

- 内蔵充電電池の残量が少なくなると、電池残量ランプが点滅します。スピーカーの電源を切り、充電してください。

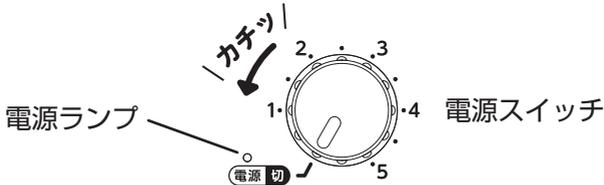
1 送信機背面の外部電源入力端子に、ACアダプターを接続する

2 ACアダプターを家庭用コンセント(AC100V)に接続する



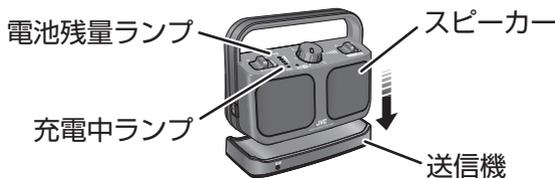
- 接続すると、送信機の電源ランプが 10 秒間点滅します。

3 スピーカーの電源スイッチを「カチッ」という音がするまで左に回し、電源を切る



- 電源ランプが消えます。

4 送信機の上にスピーカーを置く



- 充電中ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。
- 充電が完了すると、充電中ランプが消えます。
- 充電は、約 4 時間で完了します。(電池の残量や使用状況によって、変わることがあります。)

お知らせ

- 本機は過充電防止機能を搭載しています。充電完了後に AC アダプターを接続していても、過充電にはなりません。
- 充電中でも使用できますが、充電時間は長くなります。

テレビに接続する

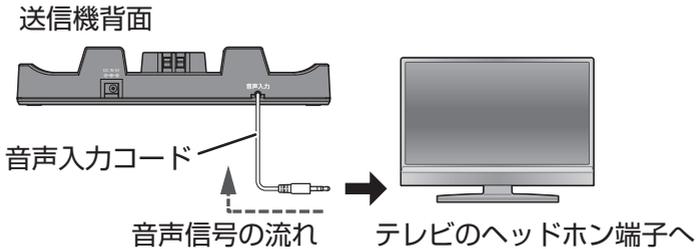
送信機をテレビのヘッドホン端子に接続する方法と、ライン出力端子に接続する方法があります。

ヘッドホン端子に接続する

ご注意

- ヘッドホンプラグを抜き差しするときは、テレビの電源を切るか、音量を最小にしてください。

送信機の音声入力コードをテレビのヘッドホン端子に接続します。



- 送信機に音声信号が入ると、送信機の電源ランプが点灯します。

テレビのスピーカーからも音を出したいときは

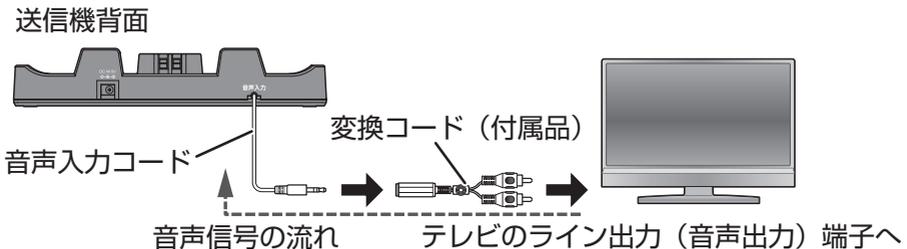
お使いのテレビの設定を変更することにより、ヘッドホン端子に接続してもテレビのスピーカーから音を出せる場合があります。お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ライン出力(音声出力)端子に接続する

ご注意

- お使いのテレビにライン出力(音声出力)端子があることをご確認ください。
- ピンプラグを抜き差しするときは、テレビの電源を切るか、音量を最小にしてください。

送信機の音声入力コードに付属の変換コードを取り付け、テレビのライン出力(音声出力)端子に接続します。



- 送信機に音声信号が入ると、送信機の電源ランプが点灯します。

テレビの音を聞く

スピーカーを充電してからお使いください。
充電のしかたについては、「スピーカーを充電する (P. 8)」をご覧ください。

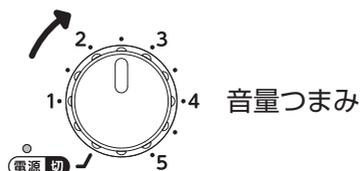
1 テレビの電源を入れる

2 スピーカーの電源スイッチを「カチッ」という音がするまで右に回し、電源を入れる



- 電源ランプが緑色に点灯します (送信機と無線接続されていないときは、点滅します)。
- 電源を入れたときに、電池残量ランプが 5 秒間点灯して、残量を表示します。

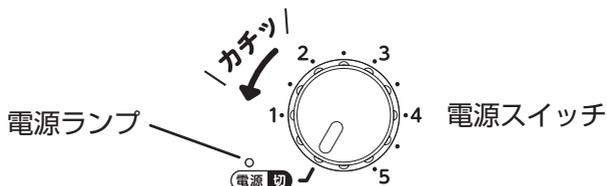
3 スピーカーの音量つまみを回して音量を調節する



- 音量つまみを最大にしても音が小さいときは、テレビの音量を上げるか、パワフル音量機能を使ってください。詳しくは、「パワフル音量機能を使う (P. 11)」をご覧ください。
- 音がひずむ場合は、音量を下げてください。

電源を切る

スピーカーの電源スイッチを「カチッ」という音がするまで左に回すと、電源が切れます。



- 電源ランプが消えます。

ご注意

- 音がひずんだ状態で長時間使用しないでください。スピーカーが発熱し、発火の原因になることがあります。

ヘッドホンで聞く

スピーカーのヘッドホン端子にヘッドホン(市販品)を接続すると、周囲に音を出さずに、ヘッドホンのみで音声を聞くことができます。

ご注意

- ヘッドホン端子カバーは、スピーカー内部への浸水防止用です。ヘッドホンを接続しないときは、ヘッドホン端子カバーを付けてお使いください。
- スピーカーのヘッドホン端子カバーを外し、ヘッドホン(市販品)を接続します。



お知らせ

- テレビの音の聞きかたについては、「テレビの音を聞く (P. 10)」をご覧ください。

音が聞き取りにくいときは

はっきり音声機能を使う

人の声が聞き取りにくいと感じたら、はっきり音声スイッチを「入」にしてください。人の声がはっきり聞こえるようになります。



お知らせ

- ヘッドホンで聞いているときも、効果があります。

パワフル音量機能を使う

スピーカーの音量が小さいと感じたら、パワフル音量スイッチを「入」にしてください。音量が大きくなります。



お知らせ

- 音がひずむ場合は、テレビまたはスピーカーの音量を下げてください。
- ヘッドホンで聞いているときは、効果がありません。

ツインオートパワーセーブ機能について

テレビからの音声信号がないときに、送信機とスピーカーの電源が自動で切れる機能です。

送信機のオートパワーセーブ

テレビからの音声信号がない状態で3分間経過すると、送信機の電源ランプが消灯し、スピーカーへの音声の送信を停止します。

テレビからの音声信号が入ると、送信機の電源ランプが点灯し、スピーカーへの音声の送信を再開します。

スピーカーのオートパワーセーブ

送信機から音声を受信できない状態になると、スピーカーの電源ランプが点滅します。送信機から音声を受信できない状態で3分間経過すると、スピーカーの電源ランプが消灯し、自動で電源が切れます。

ご注意

- 自動で電源が切れた後に、音声を聞くには、スピーカーの電源スイッチをいったん「切」の位置に戻し、電源を入れ直してください。

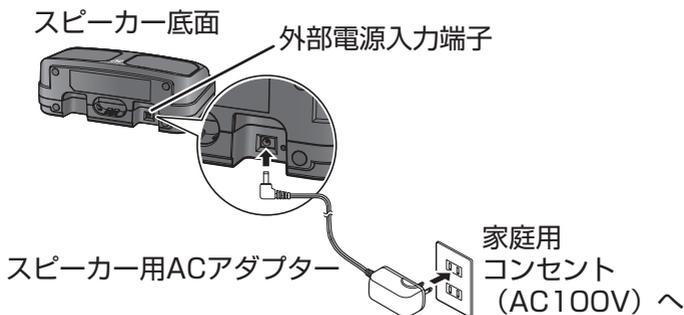
スピーカーをACアダプターで使いたいときは

スピーカー用ACアダプターを使用すると、スピーカーの充電状態を気にすることなく、お使いいただけます。

ご注意

- スピーカー用ACアダプターは、サービス部品としてもご用意しております。ご購入の際は、お買い上げの販売店にACアダプター(JD1022-000A)とお問い合わせください。

- 1 スピーカーの外部電源入力端子に、スピーカー用ACアダプターを接続する
- 2 スピーカー用ACアダプターを家庭用コンセント(AC100V)に接続する



お知らせ

- 長時間お使いにならないときは、ACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。
- ACアダプターを接続中は、スピーカーに充電がされます。

故障かな？と思ったら



問題の多くは、当社ホームページ
<http://www3.jvckenwood.com/>

から最新の製品 Q&A 情報をご覧いただくことで解決できます。カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホームページや下記をチェックしてください。ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

症状	対処	参照ページ
電源が入らない	スピーカーを充電してください。	(P. 8)
電源を入れても音が聞こえない	送信機に AC アダプターを正しく接続してください。	(P. 8)
	送信機とテレビを正しく接続してください。	(P. 9)
	テレビの電源を入れてください。	—
	テレビの音量を上げてください。	—
	オートパワーセーブ機能によって、自動で電源が切れている場合があります。スピーカーの電源スイッチをいったん切り、電源を入れ直してください。	(P. 12)
	スピーカーの音量を上げてください。	(P. 10)
L 側(左側)からしか音が聞こえない	送信機とスピーカーを近づけてください。	—
L 側(左側)からしか音が聞こえない	モノラル機器に接続すると、L 側(左側)からしか音が聞こえません。別売りのアダプター (AP-112A) をお使いください。	—
音がひずむ	スピーカーを充電してください。	(P. 8)
	テレビの音量を調節してください。	—
	スピーカーの音量を下げてください。	(P. 10)
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	スピーカーを充電してください。	(P. 8)
	送信機とテレビが正しく接続されているか確認してください。	(P. 9)
	送信機とスピーカーの周辺にある、2.4GHz の周波数を使用する機器(電子レンジ、無線 LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。	—

症状	対処	参照ページ
音が聞き取りにくい	人の声が聞き取りにくいときは、はっきり音声スイッチを「入」にしてください。	(P. 11)
	スピーカーの音量を上げてても音が小さいときは、パワフル音量スイッチを「入」にしてください。	(P. 11)
音が大きすぎる	パワフル音量スイッチが「入」になっている場合は、「切」にしてください。	(P. 11)
	テレビの音量を下げてください。	—
	スピーカーの音量を下げてください。	(P. 10)
充電できない	送信機にスピーカーをきちんと装着してください。	(P. 8)
	送信機の充電端子にゴミなどの異物が付着していないか確認してください。	—
	AC アダプターの接続を確認してください。	(P. 8)
十分に充電しても使用できる時間が短い	内蔵充電電池の交換時期です。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
自動でスピーカーの電源が切れた後、電源が入らない	オートパワーセーブ機能によって、自動でスピーカーの電源が切れたときは、スピーカーの電源スイッチをいったん切り、電源を入れ直してください。	(P. 12)
テレビのヘッドホン端子に接続すると、テレビのスピーカーから音が聞こえない	お使いのテレビの設定を変更することにより、テレビと本機の両方から音を出せる場合があります。お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。	—
	お使いのテレビにライン出力端子がある場合は、付属の変換コードを使って、送信機をテレビのライン出力端子に接続してください。	(P. 9)
ヘッドホンから音が聞こえない	ヘッドホンの本機のヘッドホン端子にしっかりと接続してください。	(P. 11)

ワイヤレス機能について

- 本機は電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本機は、日本国内のみで使用いただけます。
- 以下の行為は法律で罰せられることがあります。
 - 分解や改造を行う。
 - 本体に貼り付けている技術適合証明ラベル (㊞ マークを含むラベル) をはがす。
- 本機の無線表記について

2.4 FH8

2.4 : 2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します。

FH : FH-SS方式を表します。

8 : 想定される与干渉距離が、80メートル以内であることを表します。

■■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

- 本機と同じ2.4 GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音が途切れたりノイズ（雑音）が出る場合があります。また、本機からも他の機器に影響を与える可能性があります。そのような場合は、干渉する機器を離したり設置する向きを変えるなどしてご使用ください。
- 本機は2.4 GHzの周波数帯域を使用します。他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用しています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用していないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発信を停止）してください。
- そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

ワイヤレススピーカーの受信距離について

本機は、送信機に接続した機器の音声をスピーカーで無線受信します。送信機から受信可能な距離は、約30メートル* です。

* 送信機から受信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造により異なります。

送信機とスピーカーの間に電波をさえぎる障害物（金属のドア、壁など）があると、受信距離は短くなります。また、送信機は電波を反射しやすい壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックなどの場所を避けて設置してください。

主な仕様

一般仕様

送信周波数帯	2.4GHz 帯
変調方式	FH-SS 方式
受信距離	約 30m ※1

送信機(SP-A850T)

電源	付属 AC アダプター(JD1022-000A) ●入力:AC100-240V、50Hz/60Hz、500mA ●出力:DC5V、2A
音声入力	∅ 3.5mm ステレオミニプラグ
外形寸法(幅 × 高さ × 厚さ)	18.6cm × 3.4cm × 7.4cm
質量	153g(音声入力コード含む)

スピーカー(受信機 SP-A850R)

スピーカーユニット	口径 40mm × 2
電源	内蔵リチウムポリマー充電電池 (3.7V / 2600mAh) × 1
実用最大出力	スピーカー: 1W + 1W ※2 ヘッドホン: 75mW(32Ω)
充電時間	約 4 時間 ※1
電池持続時間	約 20 時間(5mW + 5mW 出力時) ※1
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行)	18.9cm × 13.2cm × 7.1cm
質量	453g(充電電池含む)

※1: 使用条件によって変わります。

※2: JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

<メモ>

<メモ>

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障及びその他の状況により、修理ではなく製品交換になる場合がありますので、ご了承ください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950 FAX (045) 450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理

品名 ワイヤレススピーカーシステム		製造番号	
型名 SP-A850			
お客様	お名前	ふりがな	
	ご住所	電話 () -	
お買い上げ年月日		お買い上げ日から	
年 月 日		保証期間 本体 1年間	
お買い上げ店		住所・店名・電話	

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直にお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社JVCケンウッドおよびJVCケンウッドグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12